

に比べ所得金額は一人あたり18万円減少しています。

こんな時こそ市民生活をしっかりと応援することが求められています。ところが市長は平成18年度に実施した事業予算の1割カットについて「復活するつもりはない」と答弁、こうした市長の政治姿勢は大きな問題があります。



反対討論

無所属

齋藤 詔治

歳入・決算額は12億5千686万9千円の黒字でした。繰越財源を差し引いた実質収支は11億円有余の黒字、収入済額も前年より6億9千544万円増加、歳出は支出済額が前年度より5億1千946万2千円増

加、不用額は6億5千698万8千円で前年同様でした。多くの事業も実施されましたが、市は行財政改革を進めており、この決算内容を見ますと、もともと積極的に市民要望が満たされて良かったのではないかと、特に身近な生活環境整備には、補正等で要望解決に積極的に取り組むべきでした。行政執行の一部に關し、市民より見方によっては行政の不作為(当然すべきことを積極的に行わない)と指摘される一面もあり、来年度予算は、市民要望解決に積極的な編成を要望します。又、監査委員報告に見られる吉川市の建設工事入札に、幾つかの疑義があり、明快な検討調査が進んでないこと等により、反対討論と致します。

賛成討論

公明党吉川市議団

互 金次郎

平成23年度決算は前年度比で約5億1千900万円の歳出増。歳入では約6億9千500万円の増でした。

特に注目する事業展開は、

子ども医療費通院分の支給対象を中学生まで拡大。本年4月に開設された2つの民間保育所への建設費補助。市内民間保育所への看護師配置支援。子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌ワクチンの公費接種事業。吉川美南駅の東口広場、暫定駐車場と駐輪場及びアクセス道路整備等の市単独事業。美南地区の拠点機能を備える美南小学校の建設事業の推進。災害備蓄物資の増強と「安全・安心メールサービス」導入。放射性物質の除染事業と放射線量計の貸出、給食食材の放射性物質検査の実施。

以上の積極的な施策展開を評価し賛成討論とします。

賛成討論

自民・みらい

松崎 誠

平成23年度は、東日本大震災への緊急的な対応について、臨時議会により補正予算を編成し、市民の安全安心を最優先に考えた対応と評価できます。また、吉川美南駅や美南小学校の建設費用など、多額の財源を必要とする大規模な建設事業を実施しながらも、実質収支は黒字を計上し、さらに、実質公債費比率、将来負担比率など財政健全化指標に示された数値も良好であり、総じて財政運営の健全さが認められる決算となっております。

平成24年度は、第5次吉川市総合振興計画の初年度という節目の年であり、吉川美南駅周辺地域の開発、市庁舎建設の推進など、新たなステージへの一步を象徴する事業も進められ、一層の安定した財政運営が求められます。限りある財源を最大限活用し、市長が目指す「住みよき日本」のまちづくりを進めていただくことをお願いします。

賛成討論

市民改革クラブ

稲垣 茂行

昨年の3月11日に発生した東日本大震災と津波、そして福島原子力発電所事故は、多くの生命と平穏な生活、仕事、地域や町そのものまでを奪い、悲しみと不安をもたらしました。私たちは改めて、自然災害の恐ろしさと備えの重要性を実感するとともに、原発の危険性と事故の計り知れない影響の大きさを思い知らされる事となりました。

こうした中、学校の耐震化、児童保育の拡充、保育所の待機児童解消、新駅開業へ向けた整備が進み、放射線対策も迅速・柔軟に対応し、市民の不安に応えました。

今後、防災対策をはじめ、少子高齢化・保健衛生・環境対策等の課題解決へ向け、迅速かつ実効性ある取組を推進されることを期待します。「フロリダーション」推進については、直ちに市の関与を止めることを求め、23年度決算に同意し、賛成の討論と致します。



吉川美南駅開業式典や内覧会に多くの人が参加